

令和六年度 奈良県教育長賞

税の役割と公平性

宇陀高等学校1年 高谷 昭伍

私たちの社会は、急速に変化しています。技術の進歩やグローバル化が進んでいく中で僕たちの生活や価値観も大きく変わってきています。その中で、税の在り方について考えていくことが未来の社会を築いていく上で重要です。私は、私たちの生活に直接影響を与えるだけでなく、社会全体の仕組みを支える基盤であると僕は考えています。

まず、税の役割について考えてみましょう。税金は、政府が公共サービスを提供するための資源です。教育、医療、インフラ整備、治安維持など、私たちの生活に欠かせないサービスは税金によって支えられています。ですが、税金の使い道やその公平性については、議論をしていく必要があります。特に少子高齢化が進む日本においては、税収の確保とその配分が大きな課題となっています。

次に税制の公平性について考えていきます。現在の税制は所得に応じた累進課税制度を採用していますが、実際には税負担の不公平感が存在しています。例えば、富裕層が税金を回避するための手段をもっている一方で、一般市民はその負担を強いられることが多いです。このような状況が社会を分断し、信頼関係を損なう原因になってしまっていると考えます。なので公平な負担を実施することが大切だと思います。

また、税金の使い道についても、市民の声を反映させる仕組みが必要となってくると思います。税金は私たちの生活を支えるものであるためどのように使われるかを市民が理解し、参加できる仕組みを導入することで税金の使い道に対する疑問や不満がなくなっていく、納税する人たちの信頼を得ることができると思います。

最後に、税についての理解を深めるためには、必ず勉強しないとはいけません。ですが、税の仕組みやその重要性について学ぶことで将来の納税者である僕たちが税金の使い道やその意義を理解し、社会に貢献する意識を作っていくことができると思います。